

CONCERTINO di KYOTO

No 8

TALENT EDUCATION

1966年11月23日(水)午後7時

府立勤労会館ホール



音楽のいのちを学ぼう

才能教育研究会々長 鈴木鎮一

カザルスは語る
「音楽は世界を救うであろう」と
人は環境の子なり
幼な子は、その生命のすばらしさをもって美しく高き音楽
の環境に適応し、美しく高き感覚の人となる
この不思議なる生命の血はいつの日にか
必ずや地上の総ての人間の
血となり、心となって
地上に美しく高き人間社会を
つくりあげるであろう
この音楽のいのちを学ぼうと
精進し、ここに第8回の演奏会を迎えたコンチエルティエー
ノ・ディ・キョートの皆さんに私は心からの拍手を
おおくりしたい

主催 才能教育研究会京都支部



近頃の私の心境

吉田雅夫

コンチエルティノー・ディ・キョートと一緒に演奏して、もう一年を経てしまいました。お世話になった中村先生御夫妻をはじめ、井手先生、新井先生、野村先生をなつかしく思い出しています。考えて見るとこの一年間に、随分、音楽会や放送をやってい乍ら、東京以外で演奏したのは京都だけであった事に自分で驚いています。印象に残っているのも当然です。この一年間、メンバーの皆さんは大変生長されたと思います。所で小生は、？です

最近になって、つくづく感ずることは、感動を受ける演奏は、単なる技術者の演奏ではないと云う事です。たった一つの音にも魂がある場合、無い場合があります。コンチエルティノー・ディ・キョートの皆さんの演奏の立派さは「魂」で演奏されていると云う事ではないでしょうか。音楽と云う美しい世界に対する純粋な愛情、単なるガイ骨にすぎない音譜に、血をかよわせ、肉を付ける。インカルネーションとでも云うべき心の行為を経た、魂の入った演奏、これが本来の演奏芸術ではないでしょうか？。皆さんの内にはきっと、こう云った私の最近の心境をわかって下さる方が居られると思います。

私の親友、丸山さんを迎えての演奏会が立派に行はれる事を心から祈ります。



丸山盛三

京都市出身
昭和 東京交響楽団に
26年 入団
坂逸郎氏に師事
33年 同交響楽団を退
団後、N・H・K
交響楽団に入団
38年 ベルリン国立音
楽大学に入学
カール・スタイ
ンス教授に師事
39年 同大学を卒業
現在 N・H・K 交響楽
団主席オーボエ奏者と
して、又アウロス木管
五重奏団の一員として
活躍している。

丸山盛三君を迎えて

井手章夫

私は、手もとに一本の古いオーボエを持っていますが、これは丸山君から絶対手離さないで欲しいと言われているものです。このオーボエは、彼が始めて手にして生涯の道を決めてしまった思い出の楽器だからです。今から18年も前、彼はこれを持って、当時私達がつくっていた高校連合交響楽団で活躍していました。昭和24～5年頃ですから、オーボエを吹く人も少く、オーボエ吹きが自分で作らなければならないリードの材料を手に入れるのに大変苦勞をした時代でした。京都中は勿論、大阪や神戸迄かけずり廻って材料をさがし、もう使い古して黒くなってしまったリードを大事に大事に持っていた彼を思い出します。又オーボエのリード作りについては秘伝があり、それを聞くためにオーボエを吹く人がいると聞いたら、どこへでも訪ねて行った彼でした。東京からオーケストラが来たといえ、必ず楽屋へとび込んでいましたが、今から思えばボロボロ楽器を持った見知らぬ少年が、目を輝かせて奇妙な質問をしている姿は、楽団の方にとっては驚きだったと思います。

そうした情熱を坂逸郎氏に買われ、東京交響楽団に入団したのですが、当時日本初演の数々を手掛け、いち早く外国から次々とソリストを招いて活躍していた最盛期の東響に職を得たことも幸福であったと思います。

N響に移り、あこがれのスタインズ教授の許に留学したのですが、見事1年で卒業を許され帰国しました。聞くところによれば、ベルリンでの下宿のおばさんが、「あれだけ練習するんだもの、卒業試験はきっとパスするよ」と、彼の練習振りに舌をまいて感心したそうです。

「精進」の二字ほど彼をよく現わしている言葉はありません。加うるに、常に謙虚で礼儀正しく、飾らない彼の心掛けと人柄が将来を期待される今日を築き上げたと思います。

特に近年、吉田雅夫先生の御薫陶を得て、音楽的にも人格的にも教養を高めつつあることは、彼にとってこの上無い幸せであり、たのしい限りです。

もうこんな立派に成人した彼に対して、正直なところ、タイトルも丸山さんとしなければならぬとは重々思いながら、私にとっては教師になって初の教え子であり、旧制二中音楽部時代の丸坊主姿の彼がどうしても頭から離れず、丸山君で失敬した次第です。

いつか丸山君を呼んで一諸に合奏をと言う願いが、さゝやかな形ですが実現出来て、こんなにうれしい事はありません。

多忙なスケジュールを無理に割いて来て下さった事に、厚く御礼申し上げます。将来の大成を心から祈って止みません。

合奏協奏曲 第12番

ゲオルグ・フリードリッヒ・ヘンデル (1685~1759)

ヘンデルは、生涯をドイツ、イタリア、イギリスで過ごし、各国の音楽をよく消化して独自のものをうちたて、名実共に音楽史の一時代を画した大作曲家であるが、その作品、特に器楽曲を生んだ土壌はやはりイタリア・バロックの音楽である。

1739年に作曲された作品6の「12の合奏協奏曲」の最終曲に当るこの曲は、「ハレルヤコーラス」や「水上の音楽」の豪快なヘンデルよりも、コレルリの弟子であり、スカラッティの友であった彼の教養をよく表わしている。

第3楽章のアリアは疑もなく、ヘンデル独自の作風であるが、2,4楽章、特に2楽章のアレグロなどは、仮りにコレルリやビバルディの作品だと始めて紹介されても、一寸信じてしまうくらい、イタリア・バロックの風土を感じさせるものがある。思索的で、味わいのある名作である。

絃楽合奏の為の奏鳴曲

トマゾ・アルビノーニ (1671~1750)

作曲家アルビノーニは、ビバルディとほとんど同時代の人である。

アルビノーニの音楽は、一口に言って非常に明晰で、構成や主題の取り扱いがはっきりしており、特にフーガは見事なバランスをもっている。バッハが、彼の弟子への教授や、通奏低音の練習に、晩年迄アルビノーニの合奏曲を教科書のように用いた事は、充分うなづける事である。

先づ朝の祈りに似た清楚なグラデーで始まるこの曲は、流麗な繋留を印象付けながら自然にアレグロに入る。このフーガは簡潔ながら力強く見事なまとまりを見せている。

再びひそやかなアダージョに続いて、決然たるフーガ形式のアレグロに終る。

も早やこゝに、やがて来るべきモーツアルトの協奏曲形式や、古典シンフォニー時代の芽ばえを充分感ずることが出来る作品である。

オーボエと絃楽合奏の為の協奏曲

ドメニコ・チマローザ (1749~1801)

アーサー・ベンジャミン編曲

音楽の歴史で言う、いわゆるバロック時代は、一応バッハの死んだ1750年でその幕が下りるのであって、チマローザは、その次のハイドン・モーツアルト時代の人である。

「秘密の結婚」など多数の歌劇を作曲し、歌劇作曲家として、当時の全欧にその名声を博した。歌劇の他にも、交響曲やバイオリン協奏曲、チェンバロ・ソナタも残されている。

この曲は、オーボエ奏者のほとんどがレパートリとして持つ名作であるが、その価値は、ベンジャミンの編曲に負うところが非常に大きい。絃楽合奏の部分などは、ほとんど原作の跡が見られないほど改作されているが、ソロパートの為に極めて効果的に書かれている。

2,4楽章のアレグロも軽快で愛らしいが、特に1楽章のラルゲットと3楽章のシンシリアーナは人の心をうつ名曲である。

フーガ ト短調

ヨハン・セバスチャン・バッハ (1685~1750)

バッハ協会版第15巻に収録されているオルガンの為の前奏曲とフーガ第12番で、前奏曲として幻想曲を前部に持つフーガである。

バッハがオルガン奏者として名声を博し、不滅のオルガン曲を残したワイマール時代(1708~1717)の次に来るケーテン時代の作品で、1720年の秋、ハンブルクの聖ヤコブ教会のオルガニストの職を求めて行った際、当時の大オルガニスト、ライケンの前で演奏し、絶讃を受けたものである。オルガン技法として絶妙、フーガの構成としても堂々たる傑作である。後世、合奏曲として幾種もの編曲がなされ紹介されているが、今日演奏されるものはミュンヒンガー編曲の手法を基として、当楽団指揮者の井手氏が編曲したものである。

オーボエと絃楽合奏の為の協奏曲

トマゾ・アルビノーニ (1674~1740)

作品7として、一連のこの種の協奏曲が書かれているのであるが、行方不明のものが多く、発見された4曲の内1つがこの曲である。多分1710年に発表されたものとされている。最初の出版は、遠くアムステルダムでなされ、このことから考えても、当時のイタリア合奏曲が広く、そして高く評価されていたかがわかる。

曲は、ベネチア楽派の典型的な急・緩・急の三楽章構成で、第1楽章の主題を明確に浮き彫りにしたアレグロは、オーボエの持つ個性的な発音を生かした点で、印象的である。

第2楽章は、まさにオーボエの為の牧歌である。その昔、葦の笛として生まれたオーボエの郷愁を当時の名手達は思い思いの即興句をはさみながら演奏したものであろう。

第3楽章は明快なアレグロで、よくこの曲を簡潔効果的にしめくくっている。

調和の幻想 第7番

アントニオ・ビバルディ (1675~1741)

「調和の幻想」と、ビバルディ自身が名付けた作品3の12曲の合奏協奏曲は、作品8の「四季」と共に、最も広く親まれていた名曲である。この曲は、そのセットの第7番目に当るもので、チェロの助奏をもった4つの独奏バイオリンの為の協奏曲である。

1楽章のアンダンテは、先づ豊かで、壮重な感じのする序奏で始まり、いつしか流れるような和声の対応を経て独奏バイオリンを導き出してくる。

2楽章のイタリー風のアダージョから彼特有のくったく気の無いアレグロに入り、再び伸びやかなアダージョから終曲に入る。終曲のアレグロは、モデラート風の3拍子の舞曲で、美しく典雅であって、豊かな詩情にあふれている。4つの独奏バイオリンを巧みに用いた立体感や、合奏との対比・融合の処理は全く彼独自のもので、心にくいばかりに絃楽合奏の機能と神髄を握っている。



和装の着つけに

コーリン

コーリン ベルト

コーリン キモノショーツ

コーリン 京まくら

コーリン 株式会社

着つけの革命

製品

全国百貨店有名専門店

北区小山堀池町15の1 TEL (21) 2829



コンチェルティーノ ディ キョート (才能教育研究会京都支部合奏科Aクラス)

指揮 井手章夫 独奏 丸山盛三 (オーボエ)

第一 バイオリン

中村 剋之 長尾まや子
 今井 玲子 仲佐悦子
 松村 裕美子

第二 バイオリン

小谷 明正 勝馬 春美
 宇田 美代子 寺井 麻美子
 森 のり子

ビオラ

新井 覚 芥川 徹
 武藤 信行 会 則道

チェロ

壁瀬 雅比古 田中 秀樹
 野村 武二

バス

森田 昭 指導

チェンバロ

東川 加代子

新井 覚
 (バイオリン)

野村 武二
 (チェロ)

曲 目

Programma

1. 合奏協奏曲 □短調 作品 6 の 12

ラルゴ ヘンデル
アレグロ
アリア：ラルゲット エ ピアノ
アレグロ

2. 弦楽のための奏鳴曲 イ長調 作品 2 の 3

グラーベ アルビノーニ
アレグロ
アダージオ
アレグロ

3. オーボエ協奏曲 ハ短調

ラルゲット チマローザ・
アレグロ ベンジャミン編
シンリアーナ
アレグロ ジュスト

4. フーガ ト短調

バッハ
井手章夫編

5. オーボエ協奏曲 ニ長調 作品 7 の 6

アレグロ アルビノーニ
アダージオ
アレグロ

6. 調和の幻想 ヘ長調 作品 3 の 7

アンダンテ アダージオ ビバルディ
アレグロ アダージオ
アレグロ

1. Concerto grosso Op. 6 n. 12 Si minore

Largo G. F. Händel
Allegro
Aria : Larghetto e piano
Allegro

2. Sonata per archi in la maggiore Op. 2 n. 3

Grave T. Albinoni
Allegro
Adagio
Allegro

3. Concerto per Oboe e archi in do minore

Larghetto D. Cimarosa
Allegro Benjamin
Siciliana
Allegro giusto

4. Fuge g moll

J. S. Bach-
F. Ide

5. Concerto per Oboe e archi in
re maggiore Op. 7 n. 6

Allegro T. Albinoni
Adagio
Allegro

6. L'Estro Armonico Op. 3 n. 7 fa maggiore

Andante-Adagio A. Vivaldi
Allegro-Adagio
Allegro



大阪ガス

寒い冬を暖く'

'67年度新型

ガスストーブ

赤外線式…… 3,950円から各種

スケルトン式…… 3,700円から各種

サーキュレーター…… 22,000円から各種

大阪ガス代理店

大阪ガス代理店

河原町ガスの店

墨染ガスの店

下京区河原町高辻西北角 電 (35) 7494

伏見区京阪墨染駅西50米 電 (64) 7338

京都瓦斯器具株式会社

本社 伏見区深草ヲカヤ町12 電 (64) 代6231

祝

コンチェルティノー・ディ・キョート

発表会

- おいしかったと、召上った方によるこんで頂けるよう
 - おつかいものにして先様に自慢して頂けるよう
 - 京都のどこにもない、焼き立て作りたてのケーキを召上って頂けるよう
 - 一品一品、真心こめて製造する
- これを私の生きがいとして、ケーキ作りに専念しています

ケーキ製造責任者 奥 時 雄

洋菓子と喫茶

マリヤ

上京区千本中立売下ル西側

TEL (45) 9900



プリズムカットスタイル
の軽乗用車

フェロー

新発売

- 小型乗用車なみの広く明るい室内!!
- 軽のイメージを変えた高性能エンジン!! 水冷2サイクル 2気筒
360cc 23馬力
- 高速性能を約束するすぐれた数々のメカニズム

軽自動車パイオニアのダイハツが
いままでの泣きどころをすべて解
消し自信をもっておすすめします

京都市下京区堀川通り五条下ル柿本町五八〇ノ四番地

京都 **ダイハツ** 販売株式会社

TEL 代 (35) 9131・4864

かわいのおしゃれ服売場
キンダ
シヨップ
おしゃれで活動的な お子様のお洋服は
ぜひ大丸の「キンダーシヨップ」でお見
立てください 年令・シーズンにあわせ
かわいい特選高級男女児服をバラエティ
豊かにとりそろえております ●2階



